| 学校番号 | ３１６ |
|---|---|

# 平成３１年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 明解「世界史Ａ」　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史を学ぶことで、歴史を背景とした現代世界の諸事情を理解する基礎を養います。
・教科書を使用して、プリントに板書を記入していく形式の
授業をおこないます。
・毎回のプリントが完成するごとに、プリントを提出してもらいます。
・毎学期末のテストの際に、授業でしたプリントをファイルに綴じて提出してもらいます。

## 2　学習の到達目標

基本的な世界の歴史を、近現代史を中心に、地理的条件などと関連付けて学び、現代の諸課題を歴史的観点から考察させる力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ･近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め､歴史上の諸問題について問題意識を持って意欲的に追求できているか。 | ･近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見いだし世界史的視野にたって多面的･多角的に考察できているか。 | ・史料や情報を効果的に活用することを通じて歴史的事象について追求する学び方を身につけているか。 | ・近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身につけているか。 |
| 評価方法 | ・観察<br>・提出物 | ・提出物<br>・定期考査 | ・提出物<br>・定期考査 | ・定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 前近代の諸文明 | ・古代文明から中世 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:古代文明の成立から中世までの歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:古代から中世までの歴史について考察し、適切に表現できている。<br>c:地図や写真の史料などを活用して様々な情報を読み取っている。<br>d:古代から中世までの歴史について、大まかな流れを理解し、基本的な知識を身につけている。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |
| | ヨーロッパ主権国家体制 | ・イギリスの革命<br>・フランスの絶対王政 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ | ○<br>○ | a:17～18 世紀のヨーロッパにおいて、主権国家体制が成立していった状況について、歴史的事象をふまえて関心を高めている。<br>b: 17～18 世紀のヨーロッパにおいて、どのように主権国家体制が成立していったのか考察し、適切に表現している。<br>c:大西洋三角貿易などの構造など、歴史地図や史料の内容を適切に読み取っている。<br>d: 17～18 世紀のヨーロッパにおいて、どのように主権国家体制が成立していったのか理解している。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ヨーロッパ・アメリカの諸革命 | ・アメリカ独立革命<br>・フランス革命<br>・ナポレオンの支配 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:アメリカ独立革命とフランス革命の背景としての啓蒙思想、革命が与えた影響などに対する関心を高め、歴史的意義について意欲的に追求しようとしている。<br>b: アメリカ独立革命とフランス革命の背景としての啓蒙思想、革命が与えた影響などについて考察し、適切に表現できている。<br>c:絵画史料や歴史地図から当時の状況を読み取っている。<br>d:アメリカ独立革命・フランス革命・ナポレオン時代についての基本的事項を理解できている。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |
| | 欧米の工業化 | ・産業革命<br>・資本主義の発展 | ○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:産業革命による技術革新の成果に対する関心を高め、それが内外に与えた影響について意欲的に追求しようとしている。<br>b:産業革命の歴史的意義を捉え、考察したことを適切に表現している。<br>c: 絵画史料や歴史地図から当時の状況を読み取っている。<br>d:産業革命がイギリスでおきた要因、社会生活へ与えた影響について理解している。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |
| 2学期 | 自由主義・ナショナリズムの進展 | ・1848年の革命<br>・「世界の工場」イギリス<br>・イタリア・ドイツの統一<br>・南北戦争 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:19 世紀の欧米社会に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b:19 世紀の欧米社会の動きが世界各地にどのような影響を与えたか考察している。<br>c: 絵画史料や歴史地図を活用し、当時の社会状況・時代の変化などを読み取っている。<br>d:19 世紀の欧米でおきた歴史的事象について理解している。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 東アジアの大変動 | ・中国と日本の開国<br>・日清戦争と東アジアの国際関係 | ○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:19 世紀の東アジアの歴史について、国際秩序がどのように変化したか関心を高め、意欲的に追及しようとしている。<br>b：東アジアの国際秩序がどのように変化していったのか考察し、適切に表現している。<br>c：東アジアの歴史について、絵画史料や歴史地図を活用し、当時の社会状況・時代の変化などを読み取っている。<br>d:19 世紀の東アジアの歴史について理解し、知識を身につけている。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |
| | 現代社会の芽生え | ・帝国主義<br>・第一次世界大戦 | ○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:19 世紀末から 20 世紀初めの欧米列強が、どのように帝国主義政策をすすめたか関心を高め、意欲的に追及しようとしている。<br>b: 19 世紀末から 20 世紀初めの欧米列強の内政・外交がどのように関連しあって帝国主義政策がすすめられたか考察し、適切に表現できている。<br>c: 絵画史料や歴史地図・写真などを活用し、当時の社会状況・時代の変化などを読み取っている。<br>d: 19 世紀末から 20 世紀初めの世界の動きについて理解し、知識を身につけている。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 経済危機から第二次世界大戦へ | ・ヴェルサイユ体制<br>・東アジアの民族運動<br>・世界恐慌とファシズム<br>・第二次世界大戦 | ○<br><br>○<br> | ○<br>○<br>○<br> | ○<br><br><br>○ | ○<br>○<br><br>○ | a：第一次世界大戦後に形成された国際秩序に対する関心を高め、その成果と課題は何であったか、第二次世界大戦につながっていく過程について意欲的に追及しようとしている。<br>b：1920～40年代の世界各国の社会状況について考察し、適切に表現している。<br>c：史料や歴史地図・写真などを活用し、当時の社会状況・時代の変化を読み取っている。<br>d：第一次世界大戦後に形成された国際秩序とその問題点、ヨーロッパにおける第二次大戦開始の直接的原因と戦局の推移、戦争終結への過程を理解し、その知識を身につけている。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |
| | 第二次世界大戦後の世界 | ・冷戦の時代<br>・アジア・アフリカ諸国の独立<br>・冷戦の終焉と世界の多極化<br>・現代の世界 | <br><br>○<br>○ | ○<br><br><br> | ○<br><br><br>○ | <br>○<br><br>○ | a：冷戦の時代から現代にかけての世界の諸地域について、関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b：冷戦の時代から現代にかけての世界の諸地域の政治・経済などの動向を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。<br>c：当時の事件・戦争・社会に関する写真などを活用し、当時の社会状況・時代の変化などを読み取っている。<br>d：第二次大戦後の世界についいての基本的な事柄を、政治・経済の動きと関連付け、理解している。 | 提出物<br>定期考査<br>観察 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。